

大学院教育において、高い専門性は持ちつつ、複合領域で柔軟な応用力を持たせることが求められ、大学のみでは教育が難しい課題解決型の能力を身につけるには、産学連携教育が有効と考えている。



ここでは、中長期の研究インターンシップや PBL (Project Based Learning) の事例を紹介し、実際に受講している学生や担当する企業の方とともに、産学連携教育について考える。

インターンシップ

報告会

2019.2.1 Fri.

PBL

1 インターンシップ報告

飛田 一樹 新領域・物質系 D2
派遣先：日立金属株式会社

藤原 直也 エ・化学システム工学 D1
派遣先：株式会社日本触媒

的場 みづほ 理・物理学 D1
派遣先：ケベック先端科学技術大学院大学



2 PBL 報告

「鉄道車両清掃の効率化」

テーマ提供：東日本旅客鉄道株式会社

「生命工学に関わる環境制御による生活の質の向上」

テーマ提供：株式会社荏原製作所

「カーボンフリーに向けた社会のあり方」

テーマ提供：株式会社東芝

「気象災害から人々をどう守るか？」

テーマ提供：清水建設株式会社

「次世代グラスデバイス」

テーマ提供：株式会社リコー

「異分野データ連携による社会課題の解決と新サービス事業の創生」

テーマ提供：株式会社日立製作所

3 総合討論

4 懇談会：PBL表彰式 会場：工学部2号館2階展示室

東京大学工学部2号館1階212講義室 13:30-18:30

プログラム <http://gmsi.t.u-tokyo.ac.jp>

問合せ 東京大学大学院工学系研究科機械工学専攻 GMSI プログラム事務局
〒113-8656 東京都文京区本郷7-3-1 (工学部2号館2階203号室) Tel/Fax: 03-5841-0696 (内線 20696) E-mail: office@gmsi.t.u-tokyo.ac.jp

インターンシップ・PBL 報告会

日時：2019年2月1日（金）13:30~18:30

場所：東京大学工学部2号館1階212講義室

主催：工学系研究科専攻間横断型教育プログラム「機械システム・イノベーション」(GMSI)
未来社会空間の創生 国際卓越大学院 (WINGS iFS)
科学技術人材育成のコンソーシアムの構築事業(次世代研究者育成プログラム)「最先端融合科学イノベーション教育研究コンソーシアム」(CIAiS)
博士課程教育リーディングプログラム「社会構想マネジメントを先導するグローバルリーダー養成プログラム」(GSDM)

開催趣旨：

大学院教育において、高い専門性は持ちつつ、複合領域で柔軟な応用力を持たせることが求められ、大学のみでは教育が難しい課題解決型の能力を身につけるには、産学連携教育が有効と考えている。ここでは、インターンシップやPBL(Project Based Learning)の事例を紹介し、実際に受講している学生や担当する企業の方とともに、産学連携教育について考える。

スケジュール：

- | | |
|-------------|--|
| 13:30-13:40 | 開会挨拶 丸山 茂夫（東京大学） |
| 13:40-14:10 | インターンシップ報告
飛田 一樹 日立金属株式会社
藤原 直也 株式会社日本触媒
的場 みづほ ケベック先端科学技術大学院大学 |
| 14:10-14:55 | PBL 報告
Team 1： 鉄道車両清掃の効率化
（東日本旅客鉄道株式会社）
Team 2： 生命工学に関わる環境制御による生活の質の向上
（株式会社荏原製作所）
Team 3： カーボンフリーに向けた社会のあり方
（株式会社東芝） |
| 14:55-15:15 | 休憩 |
| 15:15-16:00 | PBL 報告
Team 4： 気象災害から人々をどう守るか？
（清水建設株式会社）
Team 5： 次世代グラスデバイス
（株式会社リコー）
Team 6： 異分野データ連携による社会課題の解決と新サービス事業の創生
（株式会社日立製作所） |
| 16:00-17:00 | 総合討論（企業様からのコメント） |
| 17:00-17:10 | 閉会挨拶 金子 成彦（東京大学） |
| 17:30-18:30 | 懇談会（工学部2号館2階展示室）
PBL 表彰式 |